

リードカナリーグラスの 細切サイレージ調製

～今あるリードも有効に使おう～

豊富町は泥炭地が約4割を占め、リードカナリーグラスが優占しやすい条件が揃っています。草地更新はリードの除草に有効であり、現在も進められているところですが、直ちに根絶するのは難しいのが実態です。

この資料は、更新した草地の植生維持に努めながら、「今あるリードカナリーグラスも資源として有効に使おう」ということで、リードをスタックサイロで上手に調製し、成果を上げている農家の事例を基にまとめました。

サイレージ調製の基本

原料草より
良いサイレージは
できません

原料草

適期刈り取り

栄養価の高い原料草を使いましょう。



水分

予 乾

水分は70～75%を目標に調製しましょう。



十分な踏圧

薄く敷いて、しっかり踏圧しましょう。

踏 圧



素早い密封

できれば1日で密封しましょう。

密 封



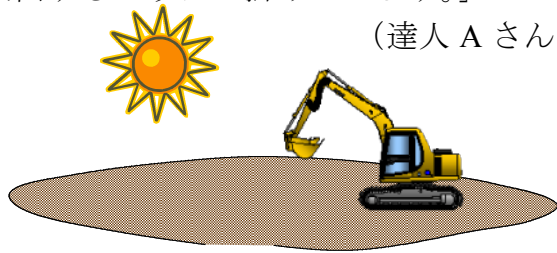
達人にきいてみました

スタック置き場の整備

「スタックの設置場所を整地する時は、雨が降った後、地面が乾ききる前にならしておくと、乾いたときに地面がしっかりとします。

スタックサイロの設置場所は、『食品』を置く場所なので、太陽光線を当てて、殺菌するように心掛けています。」

(達人 A さん)



刃の研磨

「刃の研磨は、収穫した牧草の量を考慮しながら、2日に1回行っています。

リードは蒸れると牛が食わなくなる。わが家のリードの草地は、密度が薄いので、2日ごとでいいのかもしれない。」

(達人 B さん)

切断長の調整

「1番草を収穫する頃は、天候が不安定なので、切断長をできるだけ短くして、草が乾きやすいようにしています。」(達人 B さん)



ウインドロウの幅の調整

「ウインドロウの幅は水分調整に影響があるので、番草によって調整しています。

1番草は乾きにくい傾向があるので、ウインドロウを広めに、2番草は乾きすぎるので、ウインドロウを狭めにしています。」(達人 B さん)

広め

1番草

狭め

2番草

踏圧オペレータへの伝達

「踏圧は、サイレージの発酵品質に大きな影響を与える工程なので、外部から雇った踏圧オペレータには、きっちりとそのポイントを伝えるようにしています。

自分でポイントを伝えるのは、なかなか難しいので、普及センターで作ってくれた資料を使って話すこともあります。」

(達人 A さん)

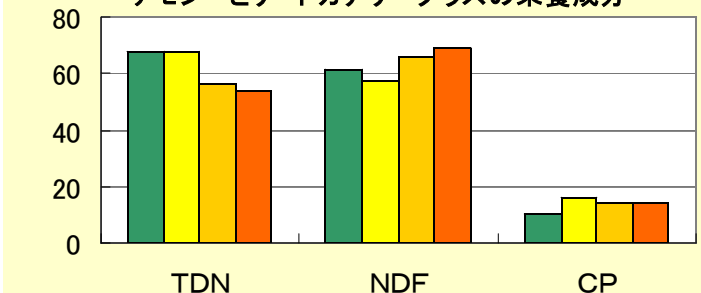


Q. リードはいつ刈り取ったらいいの？

A. 刈取りは草丈80cm程度で。
宗谷北部なら6月上旬です。

リードは草丈80cm位(伸長期)が最も栄養価が高く、嗜好性も良いので、その頃に収穫するのがお勧めです。

(乾物%) チモシーとリードカナリーグラスの栄養成分



■ TY出穂期 ■ リード6月9日(伸長期)
■ リード6月14日(穂ばらみ期) ■ リード6月18日(出穂期)

TY:チモシー(日本飼養標準)、リード:(H11年普及センター調査、稚内市)

サイレージ調製 ここを押さえよう

○ 予乾をしよう

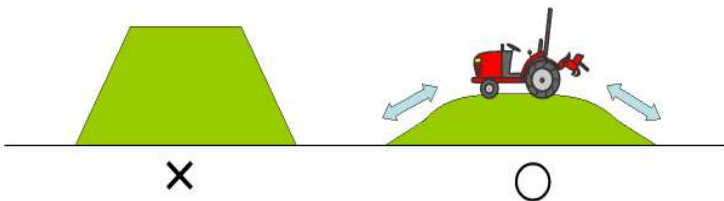
- ・ 目標水分は70～75%
- ・ 一般的には反転せずにウインドロウの状態ですら予乾
- ・ 早く乾かしたいときはテッターを使っている事例もあります



予乾しましょう

○ おすすめは「かまぼこ型」

- ・ 原料草を薄く敷き、横踏みしましょう
- ・ まんべんなく踏むときれいなかまぼこ型になります
- ・ タイヤショベルかトラクターで踏みましょう



高くしすぎない方がまんべんなく踏圧できます

○ 目標は「1日1本！！」

- ・ 詰め込んだ牧草はその日の内に丁寧に密封します
- ・ やむを得ず作業を中断するときは、面倒でも必ずシートをかけます

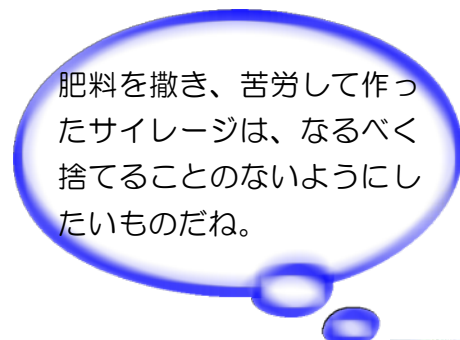
○ 堆肥の混入は不良発酵のもと

- ・ 春の堆肥散布を避け、スラリーもなるべく秋に散布しましょう
- ・ 堆肥(異物)の混入を防ぐため、刈り取り高は10cm程度で収穫しましょう



・・・うれしいお知らせ・・・

マナブと夢ちゃん、結婚しました！



リードカナリーグラスの特徴

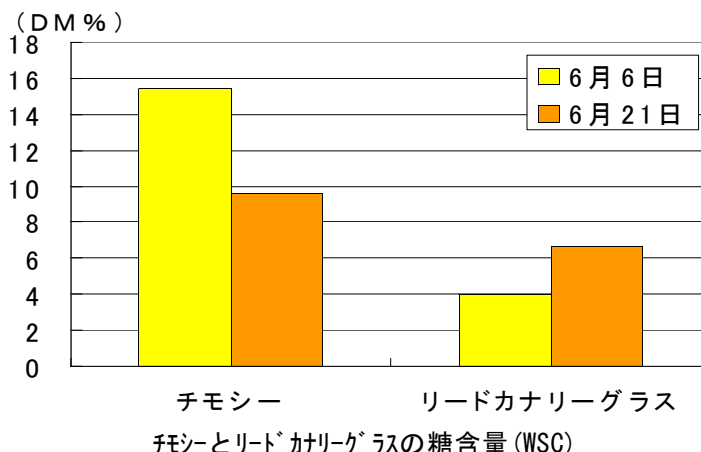
～基本技術の励行が重要なわけ～

1. 糖含量が少ない

サイレージ発酵には糖含量が大切ですが、リードの糖含量はチモシーに比べてかなり少ないです(図)。

サイレージの発酵工程では、嫌気性菌である乳酸菌が牧草中の糖を利用して乳酸を作り、pHを低下させます。

そのため、好気性細菌の増殖を抑え、乳酸菌が糖を利用しやすい環境を整えることが大切です。



チモシーとリードカナリーグラスの糖含量 (WSC)

日本草地学会誌 第40巻 第2号 (1994)

乳酸菌発酵に大切なこと

- ① 予乾して水分を下げる
- ② しっかり踏圧してサイロの空気を抜く
- ③ 素早く密封する

※堆肥の過剰散布、施肥のアンバランス（窒素とカリの過剰）は、リードの糖含量を低下させ、サイレージの発酵品質を悪くするので気をつけましょう。

2. かさばる

葉部に比べて茎部の比率が大きいかさばるため、詰め込み密度が低くなり、空気の排除が不十分になりがちです。バックホーより、タイヤショベルやトラクターでしっかり踏圧しましょう。



バックホーは接地圧が低いので、しっかり踏圧できません。

3. 高水分で調製すると、タンパク質が分解されて酪酸発酵し、品質が低下する

予乾することで酪酸発酵を抑制できます。

リードのサイレージ調製には「予乾・踏圧・早期密封」がより重要です

発酵品質をより良くするためには、悪影響を与える要因を減らし、「悪いことを重ねないこと」がポイントです。いまいちど、わが家のサイレージ調製を見直してみることをお勧めします。

※お問い合わせは

宗谷農業改良普及センター宗谷北部支所 TEL:0162-82-2119

※やむを得ずバックホーで踏圧する場合は、「バックホーオペレーターのためのサイレージ踏圧マニュアル」を参考にしてください。